

かわとはきものギャラリー

①ヨーロッパ・アメリカ・日本

神奈川県企業博物館連絡会顧問 福原 一郎

世界のはきものには、足を皮革や布などで包み込む閉塞性はきものと、サンダルのように足を露出する開放性はきものがあります。

はきものを履く目的にはさまざまなものがあります。歩行や狩猟に履いて足を守ることや、生活の道具として用いたり、また、

王侯貴族が権威のシンボルとして用いたこともあります。そして、伝統的な民族衣装に合わせて美しいはきものを履くこともあります。また、背を高くみせるためや、道路の雨水から足を守るためにヒールが出現し、現在ではファッションとしてハイヒールが履かれています。

写真は東京都立皮革技術センター台東支所「かわとはきものギャラリー」収蔵展示資料より

- 1 15世紀頃の爪先の長い靴（レプリカ）
- 2 17世紀貴族の婦人靴（レプリカ）
- 3 中世の靴（レプリカ）
- 4 爪先に飾りの付いたギリシャの靴
- 5 18世紀ヒールの付いた婦人深靴（レプリカ）
- 6 17世紀靴の下に付けるパトン（レプリカ）
- 7 18世紀のパトン（レプリカ）
- 8 イタリアのベルト付ブーツ（レプリカ）
- 9 16世紀ベネチアのチョピン（レプリカ）
- 10 ウクライナの長靴
- 11 プリント柄の婦人パンプス
- 12 メッシュのパンプス
- 13 プラットフォームのパンプス
- 14 Vカットのハイヒール・パンプス
- 15 アメリカの婦人パンプス（1960年代）
- 16 製靴用のハンマー
- 17 製靴工具の「わに」
- 18 モカシンの原形（レプリカ）
- 19 旧日本陸軍の編上靴
- 20 旧日本陸軍の乗馬用長靴



